

教科名	商業		学年	3	教科書 補助教材 等	プリント 視聴覚教材
科目名	課題研究 ソーシャルビジネス		単位数	3		
科目の 到達目標	1. 様々な社会問題について考察し、利益の追求と社会貢献を両立させるソーシャルビジネスを理解する。 2. 課題解決型のブレインストーミングを行い、効果的なプレゼンテーションを行う。					
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考
一 学 期	4	・ソーシャルビジネスとは ・CSR活動について	・ソーシャルビジネスの基礎知識や用語を理解させる。		8	
	5	・開発途上国研究	・国際理解と開発途上国を理解する。		12	PPを使用した発表
	6	・グラミンビジネス研究	・ムハマドユヌスとソーシャルビジネスを理解する。		12	
	7	・企業研究、CSR活動事例研究 ・コンプライアンス	・実際に社会貢献に積極的に取り組んでいる企業を取り上げ、その経営への効果を検証する。		10	
二 学 期	9	・SDGs 事例調べ	・SDGs についての理解を深める。		12	
	10	・SDGs 調べ及び発表	・SDGs についての理解を深める。		12	PPを使用した発表
	11	・企業連携	・企業との連携し、社会的課題を模索し、ソーシャルビジネスを研究する。		15	
	12	・企業連携	・企業との連携し、社会的課題を模索し、ソーシャルビジネスを研究する。		6	
三 学 期	1	・各自プレゼンテーション準備 ・プレゼンテーション発表会	・社会貢献と利益追求のモデルプランを考案させる。 ・資料としてパワーポイントとマインドマップを作成し、発表を行う。		12	
	2	・プレゼンテーション発表会 (パワーポイント)	・資料としてパワーポイントとマインドマップを作成し、発表を行う。		6	PPを使用した発表
	3					
年間授業 時間数計	105		1学期 42	2学期 45	3学期 18	
学習上の留意点	社会問題についての理解を深めるために、動画や新聞を使った教材を使用する。パワーポイントやマインドマップを使った発信能力も高めていく。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	時事問題で取り上げられる社会問題について理解できているか。 社会問題について自ら進んで、調べていく態度が身に付いたか。 自ら進んで体を動かし、工夫をして、古着回収の仕事に取り組めたか。					定期考査は行わない。 課題に対する取り組み状況、提出状況、完成度、自ら学ぶ姿勢を評価する。
話す・聞く能力	思考ツールとしてマインドマップをマスターできたか。 学んだことをレポートにまとめる力が身に付いたか。 人に伝えるプレゼンテーションの力が向上したか。					
読む能力	パワーポイントの作成技術が向上したか。 プレゼンテーションの技術が向上したか。					
知識・理解	これからの企業経営で必要な、ソーシャルビジネスの必要性が理解できたか。 時事問題・社会問題についての知識が豊富になったか。					